



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月25日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 石塚 久継
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 財務部長 (氏名) 畔柳 博史 (TEL) 0587-37-2111
 四半期報告書提出予定日 2021年10月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年3月21日～2021年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	36,314	9.5	2,024	666.2	2,183	661.1	1,927	—
2021年3月期第2四半期	33,161	△14.8	264	△83.1	286	△80.1	△93	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 2,139百万円(311.8%) 2021年3月期第2四半期 519百万円(△23.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	460.36	—
2021年3月期第2四半期	△22.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	80,978	28,777	30.9	5,978.39
2021年3月期	80,564	26,659	28.6	5,510.68

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 25,025百万円 2021年3月期 23,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年3月21日～2022年3月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	7.8	2,500	193.3	2,500	116.7	2,200	—	525.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想につきましては、本日(2021年10月25日)に公表いたしました「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年3月期2Q	4,219,554株	2021年3月期	4,219,554株
2022年3月期2Q	33,633株	2021年3月期	33,534株
2022年3月期2Q	4,185,966株	2021年3月期2Q	4,186,092株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料につきましては、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により緊急事態宣言が延長され、個人消費の低迷や経済活動が抑制されるなど、厳しい状況で推移しました。先行きにつきましては、国内においてもワクチン接種率が向上し、緊急事態宣言も解除されるなど明るい兆しが見られますが、原油や諸資材価格の高騰などによる下振れリスクの高まりなど、依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループは当期を最終年度とする3か年の中期経営計画『ISHIZUKA 2021～次の100年に向けて～』において、前中期経営計画から引き続き「グループ横断機能の更なる強化」を推進するとともに、「営業利益率5%の達成」及び「非容器事業を連結売上高の10%まで拡大」をめざして取り組んでおります。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大による事業環境の変化は大きく、定量的目標の達成は厳しい状況ですが、「営業利益率」、「非容器事業の売上高拡大」及び「グループ横断機能の更なる強化」を引き続き追求してまいります。

業績につきましては、前年の緊急事態宣言下に比べて市況に復調の兆しが見られ、稼働率の向上により採算が改善し、売上高36,314百万円(前年同四半期比9.5%増)、営業利益2,024百万円(前年同四半期比666.2%増)、経常利益2,183百万円(前年同四半期比661.1%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は固定資産売却益を計上したことにより、1,927百万円(前年同四半期は93百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)と前年を大きく上回る結果となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

<ガラスびん関連事業>

ガラスびんは、飲食店向けのノンアルコール用途びんの需要が増加したことなどにより、売上高は6,627百万円(前年同四半期比4.7%増)となりました。

<ハウスウェア関連事業>

ガラス食器は、企業向け景品の受注と一般市場向けの販売が堅調に推移しました。陶磁器は、国内のホテル向けの受注が大きく減少しましたが、海外はエアライン向けを除き受注が増加し、セグメント全体の売上高は5,834百万円(前年同四半期比16.0%増)となりました。

<紙容器関連事業>

紙容器は、充填機の販売はあったものの、主要ユーザーからの受注が減少したこともあり、売上高は3,771百万円(前年同四半期比0.2%増)となりました。

<プラスチック容器関連事業>

PETボトル用プリフォームは、夏場の天候不順の影響がありましたが、前年に初めての緊急事態宣言が発出されたことによる外出自粛の反動もあり、売上高は16,301百万円(前年同四半期比8.4%増)となりました。

<産業器材関連事業>

産業器材は、前年度より引き続き巣ごもり需要の増加に伴い調理器用トッププレートの受注が増加したことなどにより、売上高は1,084百万円(前年同四半期比34.6%増)となりました。

<その他事業>

抗菌剤は、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内及び海外市場ともに昨年から引き続き旺盛な需要があり販売を拡大しました。金属キャップは酒類及び医薬品向けにも出荷が伸び悩み、セグメント全体の売上高は2,694百万円(前年同四半期比22.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて414百万円増加し、80,978百万円となりました。これは主に、有形固定資産が減少しましたが、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債合計は1,703百万円減少し、52,201百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加しましたが、有利子負債が減少したことによるものです。

純資産合計は2,117百万円増加し、28,777百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。これらの結果、自己資本比率は30.9%(前連結会計年度末は28.6%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ269百万円増加し、3,867百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、4,130百万円(前年同四半期は620百万円の資金増加)となりました。資金増

加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益、仕入債務の増加及び減価償却費等によるものです。一方、資金減少の主な要因は、売上債権の増加等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、437百万円（前年同四半期は3,694百万円の資金減少）となりました。資金増加の主な要因は、有形固定資産の売却による収入によるものです。一方、資金減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、4,319百万円（前年同四半期は4,773百万円の資金増加）となりました。これは主に、短期借入金の減少、リース債務の返済による支出及び長期借入金の返済による支出によるものです。

また、新型コロナウイルス感染症に関するリスクの対応策として、金融機関と総額2,000百万円のコミットメントライン契約を締結しており、資金の流動性を確保しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月6日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年10月25日）公表いたしました「2022年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,402	2,667
受取手形及び売掛金	13,621	15,462
有価証券	1,200	1,200
商品及び製品	12,508	13,003
仕掛品	861	875
原材料及び貯蔵品	4,299	4,220
その他	1,476	899
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	36,366	38,326
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,305	6,921
機械装置及び運搬具（純額）	4,280	4,269
土地	17,505	16,719
その他（純額）	6,181	5,578
有形固定資産合計	35,272	33,488
無形固定資産	177	170
投資その他の資産		
投資有価証券	6,922	7,192
その他	1,596	1,592
貸倒引当金	△23	△18
投資その他の資産合計	8,494	8,766
固定資産合計	43,944	42,424
繰延資産	253	227
資産合計	80,564	80,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,259	10,570
短期借入金	6,923	4,036
1年内償還予定の社債	885	760
未払法人税等	356	844
賞与引当金	636	649
その他	6,935	6,714
流動負債合計	23,996	23,576
固定負債		
社債	9,265	8,885
長期借入金	3,388	3,068
役員退職慰労引当金	75	77
汚染負荷量引当金	445	434
退職給付に係る負債	5,505	5,618
その他	11,227	10,541
固定負債合計	29,908	28,625
負債合計	53,905	52,201
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,344	6,344
資本剰余金	4,606	4,606
利益剰余金	4,409	6,336
自己株式	△85	△85
株主資本合計	15,274	17,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,463	2,516
繰延ヘッジ損益	19	—
土地再評価差額金	5,393	5,393
為替換算調整勘定	13	△5
退職給付に係る調整累計額	△96	△80
その他の包括利益累計額合計	7,792	7,823
非支配株主持分	3,591	3,751
純資産合計	26,659	28,777
負債純資産合計	80,564	80,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月21日 至2021年9月20日)
売上高	33,161	36,314
売上原価	27,381	28,838
売上総利益	5,780	7,476
販売費及び一般管理費	5,515	5,451
営業利益	264	2,024
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	95	108
為替差益	—	121
受取賃貸料	123	123
その他	186	87
営業外収益合計	406	441
営業外費用		
支払利息	157	126
賃貸収入原価	70	63
その他	157	93
営業外費用合計	384	283
経常利益	286	2,183
特別利益		
固定資産売却益	—	785
特別利益合計	—	785
特別損失		
投資有価証券評価損	23	—
固定資産除却損	95	—
減損損失	—	37
特別損失合計	119	37
税金等調整前四半期純利益	167	2,931
法人税、住民税及び事業税	259	817
法人税等調整額	△87	106
法人税等合計	172	923
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4	2,007
非支配株主に帰属する四半期純利益	88	80
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93	1,927

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4	2,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	545	154
繰延ヘッジ損益	△49	△19
為替換算調整勘定	△10	△18
退職給付に係る調整額	38	15
その他の包括利益合計	523	131
四半期包括利益	519	2,139
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	529	1,957
非支配株主に係る四半期包括利益	△10	181

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月21日 至2021年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	167	2,931
減価償却費	2,245	1,796
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△16	12
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	1
汚染負荷量引当金の増減額(△は減少)	△11	△10
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	49	122
受取利息及び受取配当金	△97	△109
支払利息	157	126
為替差損益(△は益)	20	△105
有形固定資産売却損益(△は益)	△8	△784
投資有価証券評価損益(△は益)	23	—
減損損失	—	37
売上債権の増減額(△は増加)	△2,871	△1,829
たな卸資産の増減額(△は増加)	△252	△384
未収入金の増減額(△は増加)	△72	311
前渡金の増減額(△は増加)	13	△57
仕入債務の増減額(△は減少)	1,776	2,287
未払費用の増減額(△は減少)	△71	244
その他	27	△265
小計	1,081	4,318
利息及び配当金の受取額	97	110
利息の支払額	△154	△121
雇用調整助成金の受取額	64	82
法人税等の支払額	△468	△259
営業活動によるキャッシュ・フロー	620	4,130
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	4	4
有形固定資産の取得による支出	△3,658	△1,261
有形固定資産の売却による収入	14	1,797
投資有価証券の取得による支出	△116	△11
投資有価証券の売却による収入	111	—
貸付けによる支出	△4	△0
貸付金の回収による収入	2	1
その他	△47	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,694	437

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年3月21日 至2020年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年3月21日 至2021年9月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	4,280	△2,640
長期借入れによる収入	1,670	50
長期借入金の返済による支出	△4,155	△616
社債の発行による収入	3,531	—
社債の償還による支出	△808	△505
セール・アンド・リースバックによる収入	1,238	243
リース債務の返済による支出	△754	△823
配当金の支払額	△200	—
非支配株主への配当金の支払額	△26	△27
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,773	△4,319
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,681	269
現金及び現金同等物の期首残高	2,624	3,598
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	47	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,353	3,867

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年3月21日 至 2020年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 材 関 連	業 材 関 連				
売上高										
外部顧客への売上高	6,330	5,029	3,765	15,035	805	30,967	2,194	33,161	—	33,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	12	—	195	—	208	2,777	2,985	△2,985	—
計	6,330	5,042	3,765	15,230	805	31,175	4,971	36,146	△2,985	33,161
セグメント利益又は 損失(△)	△984	△446	143	1,294	53	61	203	264	0	264

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円には、たな卸資産の調整額0百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2021年3月21日 至 2021年9月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	ガラス びん 関連	ハウス ウェア 関連	紙容器 関連	プラス チック 容器 関連	産 器 材 関 連	業 材 関 連				
売上高										
外部顧客への売上高	6,627	5,834	3,771	16,301	1,084	33,619	2,694	36,314	—	36,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2	—	216	—	218	2,823	3,041	△3,041	—
計	6,627	5,837	3,771	16,517	1,084	33,838	5,517	39,356	△3,041	36,314
セグメント利益又は 損失(△)	△3	△101	△29	1,504	217	1,587	434	2,021	3	2,024

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円には、たな卸資産の調整額3百万円、その他△0百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。